



プレスリリース

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

シカホグ村及び近隣村救急車整備計画 供与式の実施

エレバン：令和7年1月29日

令和7年1月29日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「シカホグ村及び近隣村救急車整備計画」（供与限度額：67,498米ドル）の供与式が、シュニク州庁舎において開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、ロベルト・グカスヤン・シュニク州知事、ナレ・ガザリヤン・シュニク州副知事が出席したほか、医療関係者や地元住民等が参加しました。

本事業はシカホグ診療所に救急車1台を配備することにより、シカホグ村及び近隣5村の急病人・負傷者を、地域の基幹病院であるカパン医療センターまで安全に搬送できるようにするものです。本事業の実施により、同地域の約1,050人の住民が、迅速に必要な救急医療サービスを受け入れられるようになります。同診療所は山あいであり、長年救急車が配備されておらず、救急時には約13～50km離れたカパン医療センターからの救急車を待たなければなりませんでした。そのため、患者の搬送に最大4時間を要していたところ、本支援はそのような喫緊の課題に応えるものとなります。

ロベルト・グカスヤン・シュニク州知事は「この地域は山がちのため、救急車による搬送にも多くの時間を要していましたが、日本から支援いただいた救急車は性能がよく、より効率的な搬送が可能になりました。ナゴルノ・カラバフから多くの避難民が流入し、私たちが様々な困難に直面している中で、地元の人々の喫緊のニーズに応える支援をしてくださったことに、心から謝意を表します。」と述べました。



供与された救急車を前に
記念撮影



関係者に祝辞を述べる青木大使



救急車を視察する青木大使



医療機材を搭載した救急車